

第1号議案 2021年度事業報告及び収支決算報告に関する件  
一般社団法人 日本養豚協会 2021年度事業報告

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

## I 活動状況

### A. 通常総会

6月25日 2021年度通常総会開催 東京都千代田区飯田橋 ホテル グランドパレス

#### 【議案】

第1号議案 2020年度事業報告及び収支決算報告に関する件

第2号議案 2021年度事業計画及び収支予算に関する件

第3号議案 2021年度会費の徴収に関する件

第4号議案 役員候補の補欠選人に関する件

### B. 理事会

第1回理事会 5月27日 東京都 AP市ヶ谷

#### 【報告事項】

- (1) 2020年度事業報告及び収支報告について
- (2) 部会活動報告
- (3) 豚熱対策検討委員会の開催について
- (4) 豚枝肉取引規格改定について

#### 【協議事項】

- (1) 2020年度事業報告及び収支報告について
- (2) 2021年度事業計画及び収支予算について
- (3) 2021年度活動方針について
- (4) 職員給与規定等の改定について
- (5) 豚熱に関して
- (6) アフリカ豚熱の水際対策について
- (7) 豚マルキン事業について
- (8) その他

①行事予定

②その他

## 第2回理事会 6月25日 AP市ヶ谷

### (1) 【総会議案】

- 第1号議案 2020年度事業報告及び収支決算報告に関する件
- 第2号議案 2021年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案 2021年度会費の徴収に関する件
- 第4号議案 補欠役員を選任に関する件

### (2) 総会の進め方に関して

### (3) その他

- ・農林水産大臣等への要望（6月16日）
- ・豚熱対策検討委員会による消費・安全局長への要請（6月24日）
- ・日本食肉格付協会への要請（6月24日）

## 第3回理事会 9月16日（木） AP市ヶ谷

### 【報告事項】

- (1) 2021年度第1期事業報告及び収支決算報告に関する件
- (2) 部会活動について
- (3) 第3号議案 輸出・国際局のヒアリングについて
- (4) 豚熱発生農家に対する義援金について
- (5) その他 資料添付
  - ・要請書
  - ・家畜伝染病予防法施行規則改正資料
  - ・畜舎建築法関係
  - ・JRL事業「飼養衛生管理徹底等による養豚産業基盤強化事業」

### 【協議事項】

- (1) JPPA活動について
- (2) その他
  - ①種豚登録規程等の一部改正について
  - ②会員向けモバイルアプリの開発について
  - ③豚熱部会からの提案「豚専門部会創設を農水省に提案」
  - ④今後の行事予定
  - ⑤その他

## 第4回理事会 11月25日（木） AP市ヶ谷

### 【報告事項】

- (1) 2021 年度第 1 期事業報告及び収支決算報告に関する件
- (2) 日格協取引規格見直しについて
- (3) 第 49 回衆議院選挙の結果について
- (4) 税制改正要望について
- (5) 部会報告

**【協議事項】**

- (1) 2021 年度下期（10～3 月）の活動について
- (2) AWの動向と対応について
- (3) 豚熱対策等今後の要請について
- (4) 役員改選について
- (5) その他
  - ①流通・消費部会での豚マルキンに関するアンケートの実施
  - ②水質基準の強化について
  - ③今後の行事予定
  - ④その他（フリーディスカッション）

**第 5 回理事会 3 月 3 日（木）A P 市ヶ谷**

**【報告事項】**

- (1) 2021 年度（4～12 月）業務報告及び収支決算報告に関する件
- (2) 部会活動について
- (3) 豚熱等の要請活動結果
- (4) 農水省アニマルウェルフェア（AW）意見交換会について
- (5) I P P S 2022 について
- (6) 会員向けアプリの導入に関して

**【協議事項】**

- (1) AWへの対応について
- (2) 豚熱に関して
  - ①種豚場での豚熱発生を踏まえて
  - ②関東協議会からの要請について
  - ③ J P P A としての要請活動等
- (3) 役員改選について
- (4) その他
  - ①C S F 見舞金改正案
  - ②今後の予定
  - ③その他

## C. 監査

5月20日 2監事による監査を実施

## D. 部会等

### ① 総務企画部会

- 第1回 総務企画部会 (2021年5月21日(金) WEB)
- 第2回 総務企画部会 (2021年9月16日(木) WEB)
- 第3回 総務企画部会 (2021年11月11日(木) WEB&来所)
- 第4回 総務企画部会 (2022年2月17日(木) WEB&来所)

### ② 生産・経営部会

第1回 生産・経営部会兼養豚農業実態調査事項検討会 (2021年6月17日 (WEB))  
部会議題：下記検討会内容の共有、中央畜産会の排水基準調査協力について、部会活動について。

検討会議題：実態調査の調査方法について、調査票内容の修正について、今後のスケジュール共有、優良事例調査実施の有無について。

※第1回中小・生産経営合同部会 (2021年10月6日 (WEB)) の開催にあたり部会長、担当副会長、委員1名に参加協力を依頼。

第2回 生産・経営部会兼養豚農業実態調査事項検討会 (2021年12月9日 (WEB))  
部会議題：下記検討会内容の共有、暫定排水基準値の改正について、畜産環境対策総合支援事業について、アニマルウェルフェアに関する今後の部会連携について (報告)、特定技能実習生の在留資格変更について (報告)、部会取り組みについて

検討会議題：実態調査今後のスケジュール共有、今年度の変更・改善取り組みについて、返礼品選定について。

第3回 生産・経営部会兼養豚農業実態調査事項検討会

(2022年3月8日 (WEB&集合))

部会議題：下記検討会内容の共有、暫定排水基準値の改正について、JPPA 養豚アプリを用いた情報共有、アニマルウェルフェア、部会取り組みについて

検討会議題：実態調査今後のスケジュール共有、報告書の内容確認読み合わせ、今年度の反省及び次年度に向けての意見交換。

優良事例調査の実施 2022年3月8日 熊本県 (株)熊本興畜

### ③ 流通・消費部会

#### 第1回流通消費部会（2021年9月28日（火））

豚マルキンについて現状の制度と要望の確認、豚肉輸入関税の低下と輸入動向について岩田氏による情報提供、フェイクミートに関する現状と見通し、豚肉関税の目的税化についての考え方等について意見交換した。次回（2月）に向けて、フェイクミートの実食調査、方向取りまとめ、九州ブロック会議における豚マルキン説明の実施等を進めていくこととなった。

- ・農水省の予算事業の「政策目標にある国内枝肉生産量」が1年目に達成したことで、予算要求するなかで養豚振興の優先順位が低くなることが懸念される。5年ごとの目標見直しに際しては今後、その辺に留意して対応していく必要があると岩田氏より指摘があった。
- ・豚マルキンについて、宮崎県他九州地区の理事や会員からアンケートの実施を求める声があったことから、12月24日～1月20日に全国の会員に対してアンケートを発出し、取りまとめを行った。なお、本アンケートは、豚マルキン事業が本会の要請に基づき措置された優れたセーフティーネット事業であり、今後も制度を維持していくことを前提に、満足度や改善点につき将来に備えて意見を聞くものである。

#### 第2回流通消費部会（2022年2月18日（金））

豚マルキンアンケート結果報告、豚肉関税についての情報提供、その他（フェイクミート、AW）について協議をした。

- ・豚マルキンアンケート結果では、「説明が必要、議論が必要、見直しが必要」の回答は約6割となり、まずは会員への周知が必要とされ、議論すべき点は枝肉の建値、と畜料、歩留りを中心に数字を集め協議することとした。
- ・豚肉関税の情報提供では、輸入先の現地価格と着地価格の差が大きく、脱税の可能性が考えられるとした。豚肉の関税については会員へ情報を周知することが重要とされた。
- ・AWに関しては、科学的な数字を集めることと、取組やすい方向になるように議論を進めるべきとされた。

### ④ 衛生部会

<部会>

第1回衛生部会・豚熱対策部会合同部会（4月26日（月）WEB）

第2回衛生部会（7月19日（月）WEB）

- ・農水省動物衛生課と家畜防疫対策関連意見交換会

第3回衛生部会（11月26日（金）WEB&来所）

## <要請・その他>

- ・ 野上農水大臣ほかへの要請（6月13日）にてASFの水際対策を要請
- ・ 第2回衛生部会を受け、動物衛生課に対しアンケート協力
- ・ 家畜防疫対策関連の法改正・変更に伴い、総務企画部会にてJPPA理事に対し各県での対応状況の調査協力依頼予定
- ・ 上記飼養衛生管理指導等指針に関する調査に関して、理事会にて報告
- ・ エランコジャパン株式会社に依頼し、ネズミ対策等について、JPPA通信での周知を実施予定。以降、賛助会員のメーカー等に依頼し、飼養衛生管理に関する情報提供を行う。

## ⑤ 育種改良・登記登録部会

第1回開催 令和3年度豚熱発生に伴う種豚生産者の今後の対応等について意見調整の打ち合わせ（5月7日（金）会場参加及びWEB）

第2回開催 種豚流通円滑化に関する全国会議（5月12日（水）WEB）

第3回開催 種豚流通円滑化に関する全国会議（3月16日（水）WEB）

- ・ 豚産肉能力規程及び種雌豚産子検定規程改訂準備に伴うアンケート調査（9月2日実施。取り纏め済み。結果をもとに検討のための必要情報を精査し11月第2回アンケート実施。）
- ・ 豚産肉能力規程改訂準備に伴うアンケート調査第二回（11月4日実施。取り纏め済み。結果をもとに具体的な改訂手順、改訂取り組みについて2月、学識経験者らに相談。調査結果と改訂内容案を令和4年7月頃、関係者に提案予定。）
- ・ 農林水産省：畜産生産力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進のうち豚）の実施で、遺伝子（SNP）情報等を用いた国産純粋種豚の現場レベルでの改良手法の普及・定着を図る取り組みにおいて、検体サンプルと形質データの提出を行い、検査結果をもとに学識経験者の検証報告を受け、今後の改良手法について意見交換を実施した。
- ・ 第8回（1月25日）及び第9回（3月1日）豚熱対策部会 オブザーバー参加（育種改良・登記登録部会より2委員参加）
- ・ 種豚登録講習会（5月14日 千葉県）
- ・ 種豚登録講習会（9月14日 茨城県）
- ・ 種豚登録講習会（10月15日 伊豆大島）
- ・ 種豚登録講習会（10月29日 山梨県）
- ・ 種豚登録講習会（11月17日 北海道）
- ・ 種豚登録講習会（11月19日 宮城県）
- ・ 種豚登録講習会（12月3日 鹿児島県）
- ・ 令和4年2月17日 第18回 京都府豚肉品質向上研究会にて自家更新のための種豚選抜について講義

【当協会が事務局を担当する国産純粋種豚改良協議会についても、本部会が中心となって対応しており、関連活動として】

- ・国産純粋種豚改良協議会 改良のためのデータコレクトについて（つなぎ評価・LP5 値）検討会（7月9日（金）WEB）
  - ・国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚に関する打合せ（ロゴマーク選定・銘柄豚選定など）（主にメール及びFAXにて担当会員と打合せを実施）
  - ・国産純粋種豚改良協議会版 遺伝的能力評価及び種豚ランキングのためのデータ提出・評価・公表（7月30日公表。ただし、公表は会員限定）
  - ・国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定委員会（10月18日（月）WEB）
  - ・国産純粋種豚改良協議会 改良のためのデータコレクトについて（つなぎ評価・LP5 値）検討会（10月22日（金）WEB&来所）
  - ・令和3年度 国産純粋種豚改良協議会総会及び意見交換会（12月23日（木）WEB&婦選会館）
  - ・種豚生産農場における豚熱発生に伴う今後の対応等緊急打合せ（12月28日（火）JPPA事務所）
  - ・精液及び種豚緊急供給協力体制打合せ（12月28日～31日 電話及びメールにて打合せの上体制を構築）
  - ・国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚事業を令和3年度より開始。現在4銘柄認定。
  - ・豚熱及び豚熱対策に関するアンケートを全国の種豚生産者を対象に実施。（1月6日。育種改良・登記登録部会、国産純粋種豚改良協議会、種豚生産者連絡会の連名で実施した。取り纏め結果をもとに2月、農水省及び関係省庁へ質問書として提出、書面回答を文書にて求め、3月31日に回答あり。）
- ※豚熱ワクチン分断接種に伴う、種豚及び精液導入の相談対応（種豚マッチング）

## ⑥ 青年部会

第1回 青年部会（2021年4月15日（金）WEB）

新年度消費拡大企画について詳細打合せ、および青年部会年間事業について協議した。

第2回 青年部会&俺豚PT（プロジェクトチーム）合同会議（9月22日（水）WEB）

農林水産省との意見交換会計画と、俺豚キャンペーンの進捗状況・今後の日程等について協議した。

第3回 青年部会（2021年10月21日（木）WEB）

第4回 青年部会（2021年11月4日（木）WEB）

第5回 青年部会（2021年11月12日（金）WEB）

11/4に開催した農林水産省との意見交換会について反省と次回に向けた検討を行った。次年度ではハイブリッド開催、WEB開催と年度内に2回開催を目指す。青年部セミナーについて、日程・テーマ・講演内容等を協議した。

第6回 青年部会（2021年12月24日（金）WEB）

青年部セミナーの会場、座談会の進行方法、タイムテーブルについて協議した。

第7回 青年部会 (2022年1月13日(木)WEB)

青年部セミナーの講師変更に伴う内容修正について協議したほか、俺豚開催状況、その他年度内実施事業の確認と次年度の取り組み計画について協議した。

第8回 青年部会 (2022年2月9日(木)WEB)

来年度俺豚 SNS キャンペーン企画及び予算について協議し理事会提出のための企画書を作成した。

第9回 青年部会 (2022年3月11日(金)WEB)

青年部セミナーの運営進行について直前の最終打合せを行った。

インスタグラム 生産者対談ライブ配信 (2021年6月18日(金)インスタグラム)

インスタグラム 生産者対談ライブ配信 (2021年8月19日(木)インスタグラム)

\*俺たちの豚肉を食ってくれ！2021 SNS ポークマンキャンペーン

(2021年5月～2022年3月 Twitter、Instagram、Facebook)

コロナ禍における消費拡大の取り組みとして、昨年に引き続き SNS を活用した国産豚肉や加工品が総計 210 名に当たるプレゼント企画を 5 月～3 月までに全 7 回実施し生産者同士の対談を SNS で生中継するなど国産豚肉の PR を図った。

Vol.1 応募期間 5月23日～5月30日／Twitter 応募者数 3,929 名

Vol.2 応募期間 7月25日～8月1日／Twitter 応募者数 3,464 名

Vol.3 応募期間 9月26日～10月3日／Twitter 応募者数 3,134 名

Vol.4 応募期間 11月29日～12月6日／Twitter 応募者数 3,779 名

Vol.5 応募期間 12月29日～1月10日／Twitter 応募者数 5,244 名

Vol.6 応募期間 1月29日～2月9日／Twitter 応募者数 3,450 名

Vol.7 応募期間 2月26日～3月6日／Twitter 応募者数 3,681 名

\*青年部と農林水産省との意見交換会 (2021年11月4日(木)WEB会議)

生産者会員から参加者を募集し、豚熱 (CSF) をテーマに、農林水産省と Zoom で意見交換会を実施した。

\*青年部セミナー (2022年3月11日(金)WEB)

豚熱 (講師: 豚熱対策部会、講演後座談会)、アニマルウェルフェア (講師: 農林水産省、畜産技術協会) をテーマにセミナーを WEB 開催し 97 名が参加した。

## ⑦ 中小経営部会

石川担当副会長が (公社) 畜産技術協会の「快適性に配慮した豚の飼養管理推進普及事業」における推進委員会委員に就任。



第1回中小・生産経営合同部会（2021年10月6日（WEB&来所））の開催

議題：アニマルウェルフェア（AW）、チェックオフ制度について、中小経営者向け補助金の要請について検討を行った。また、委員から技能実習生における農業就業時の特定2号への推薦について意見が上がったことから、理事会で検討することとした。畜舎建築基準の緩和等について情報共有した。

2022年1月27日農水省主催のAWに関する意見交換会に石川副会長が委員として出席。

## ⑧ 豚熱対策部会

<部会>

第1回 衛生部会豚熱対策部会合同部会（4月26日（月）WEB）

第2回 豚熱対策部会（5月25日（火）WEB）

第3回 豚熱対策部会（6月29日（火）WEB）

第4回 豚熱対策部会（8月17日（火）WEB）

第5回 豚熱対策部会（9月21日（火）WEB）

第6回 豚熱対策部会（11月2日（火）WEB）

第7回 豚熱対策部会（11月22日（月）WEB）

第8回 豚熱対策部会（1月25日（火）WEB）

第9回 豚熱対策部会（3月1日（火）WEB）

① 種豚・精液の流通について

1. 種豚場での発生に係る要請に関する報告

2. 現状における種豚・精液供給・流通に関する意見交換会

② ワクチンメーカーへの質問事項について

③ 豚熱対策計画の見直しと今後の活動について

④ 豚熱発生から再開までのフローチャートについて

<豚熱対策検討委員会>

第1回 豚熱対策検討委員会（5月10日（月）WEB）

第2回 豚熱対策検討委員会（6月1日（火）WEB）

<要請・その他>

- ・豚熱対策検討委員会として、6月24日に農水省動物衛生課に豚熱対策について要請
- ・7月より伊藤貢先生に依頼し、豚熱陽性イノシシマップのJPPA通信への掲載
- ・抗体検査に関するアンケート実施（3月）
- ・総務企画部会に対し、農水省消費安全局宛に、食糧農業農村政策審議会の豚病専門の委員会の設立要請を提案

- ・12月末の宮城県の種豚場での豚熱発生を受け、育種改良・登記登録部会等と連携して、第8回での議論をもとに種豚を守り、被害拡大を防ぐような要請を検討した。
- ・3月16日に豚熱ワクチンメーカーの共立製薬との意見交換を実施。今後も引き続き情報交換を続けていくことで同意を得た

| ⑨ ブロック会議等  | 開催実績           |     |  |
|------------|----------------|-----|--|
| 2022年2月4日  | 北海道・東北ブロック会議   | WEB |  |
| 2022年2月9日  | 関東協議会          | WEB |  |
| 2022年2月14日 | 九州・沖縄ブロック会議    | WEB |  |
| 2022年2月21日 | 北陸・東海・近畿ブロック会議 | WEB |  |
| 2022年3月23日 | 中国・四国ブロック会議    | WEB |  |

## ⑩ その他の活動について

1. 日本養豚大学校 新型コロナウイルスの感染拡大により2期中止
2. 2021年4月12日（火）日本養豚大学校運営委員会開催（WEB）  
開始時期を9月に遅らせ、人数を30人程度に削減し、新型コロナ対策に万全を期したうえで、フルサイズで開催する方向を確認した。
3. 記念誌「激動の日本養豚史（仮）」製作  
編集委員：志澤 勝 名誉顧問  
塩田 忠 アドバイザー  
倉本 壽夫氏  
大出 丈夫氏（全国農業会議所）  
第1回 記念誌製作委員会（2021年3月7日（月）来所）  
第2回 記念誌製作委員会（2021年4月21日（木）来所）  
発行予定は2023年度を予定

## ⑪ MA 米買い付け事業

| 期          | 数量<br>t | 買い受実績の<br>あった員数 | 単価 円<br>/Kg | 事業費 千円<br>(税、手数料含まず) |
|------------|---------|-----------------|-------------|----------------------|
| 2021 第 1 期 | 3,573   | 18              | 24.0        | 85,752               |
| 2021 第 2 期 | 4,465   | 20              | 25.3        | 112,965              |
| 2021 第 3 期 | 2,645   | 15              | 26.7        | 70,622               |
| 2021 第 4 期 | 3,583   | 13              | 28.7        | 102,832              |
| 計          | 14,266  | -               | 平均 26.1     | 372,170              |

## II 業務に関する事業

### 1. 改良に関する事項

(1) 登録審議会 2021年7月9日(金) WEB 開催

### 2. 種豚の登録事業 (2021.4.1~2022.3.31)

| 区 分         | 件 数      | 区 分                 | 件 数     |
|-------------|----------|---------------------|---------|
| (1) 登録事業    |          | 7) 一代雑種血統証明         | 1,215 頭 |
| 1) 種豚登録     | 5,613 頭  | 8) 海外合成豚証明          |         |
| 2) 産肉検定     | 51 頭     | ①合成豚認定              | 0 銘柄    |
| 3) 産子検定     | 5 頭      | ②合成豚種豚場指定           | 0 場     |
| 4) 子豚登記     | 12,176 頭 | ③合成豚血統証明            | 0 頭     |
|             |          | ④合成豚移動証明            | 0 頭     |
| (2) 証明事業    | 件 数      | 9) 国内合成豚証明          |         |
| 1) 血統登記     | 29 頭     | ①合成豚血統証明            | 13 頭    |
| 2) 証明書書換    | 16 頭     | ②合成豚移動証明            | 0 頭     |
| 3) 証明書再交付   | 63 頭     | 10) 肉豚証明            | 2,453 頭 |
| 4) 移動証明     | 1,785 頭  | 11) 輸入精液証明          | 601 本   |
| 5) 血統能力証明   |          | (3) 認定事業            |         |
| ①子豚・種豚      | 466 頭    | 1) 遺伝資源保存指定種豚場認定    | 42 場    |
| ②一代雑種・海外合成豚 | 0 頭      | 2) 育種利用・防疫推進指定種豚場認定 | 6 場     |
|             |          | 3) 黒豚生産農場指定         | 12 場    |
| 6) 系統証明     |          |                     |         |
| ①系統認定       | 21 系統    |                     |         |
| ②系統維持施設指定   | 22 施設    |                     |         |
| ③系統種豚証明     | 215 頭    |                     |         |

### 3. 共進会に対する褒賞

県数 9 県 共進会の数 9 件 褒賞点数 13 点

### 4. 情報提供及び情報公開

- (1) 種豚情報総合システム（PINS）の運営、改良情報等の提供
- (2) 会員機関誌 JPPA 通信を定期的に発行
- (3) ホームページへの事業計画及び事業報告の掲載等

## III 補助事業・委託事業等の実施

1. 農林水産省：畜産生産力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進のうち豚）の実施。
2. （独）農畜産業振興機構：養豚経営安定対策補完事業（種豚・精液導入、養豚農業実態調査、優良事例調査等）の実施。
3. 農林水産省及び（公社）中央畜産会：畜産物輸出特別支援事業（豚肉輸出）の実施。
4. JRL 事業：（公財）全国競馬・畜産振興会 飼養衛生管理徹底等による養豚産業基盤強化事業の実施。
5. 全国農業会議所：令和 2 年度第 2 次補正予算「経営継続補助金」に係る伴走支援事業の実施

## IV 協議会事務局等の運営

### 1. 国産純粋種豚改良協議会事務局の運営

平成 28 年 3 月 31 日に設立された「国産純粋種豚改良協議会」の事務局を引き受け、産官民一体となって実施する国産純粋種豚の改良に参画。

### 2. 日本畜産物輸出促進協議会 豚肉輸出部会事務局の運営

豚肉輸出促進活動：

- (1) タイ：レストラン・小売店フェア 2021 年 12 月 3 日～31 日
- (2) シンガポール：レストランフェア 2022 年 1 月 17 日～31 日

## V その他の活動

### ○ 家畜伝染病予防法施行規則の改正について パブリックコメントの提出

- ・7月29日 家畜伝染病予防法施行規則改正に関してパブコメ提出。

### ○ 大豆ミート食品 J A S 規格について パブリックコメント提出

- ・11月29日 事務局長名で、農林水産省に意見提出

- ① 食肉でないものを「ミート」と表示することは消費者に誤解を招き不適切であり、「大豆たんぱく食品」と名称変更すべき
- ② 「肉不使用」等の記述を義務付けるべき
- ③ 肉に似せるため多くの添加物等の使用が懸念されるため、添加物等の原材料の種類、使用量等を明確化すべき

### ○ 豚肉格付規格改正について

- ・6月24日に日本食肉格付協会に要請実施。

・その後、全農畜産部、並びに以下の食肉関連団体に要請書を送付し説明、会員への周知をお願いした（日本食肉市場卸売協会、日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業組合、全国食肉事業協同組合連合会、日本食肉協会、全国食肉業務用卸協同組合連合会、日本食肉流通センター、日本食肉流通センター卸売事業協同組合）。

- ・9月28日 日本食肉格付協会の専門部会

竹延会長代行及び松村顧問理事（豚事協理事長）出席

- ・10月29日 日本食肉格付協会 理事会

①豚肉取引規格を3Kg 上方にシフトする、②生産者へのデータによる情報提供等の充実を図る、③格付け料金の値上げ11円/頭（うち1円は税金）を来年度中に実施と決議。なお、決議にあたり、生産者への周知のため時間をかけるべき等の意見があった模様。

・2022年4月21日 日本食肉格付協会の臨時総会において全会一致で以下の内容につき、十分な周知期間を確保するため令和5年1月1日から施行することを決定した。

- ① 豚枝肉規格の本文及び別表2の「枝肉重量と背脂肪の厚さによる等級判定表」における各等級（極上、上、中及び並）の重量範囲について上限・下限ともに3Kg引き上げる。
- ② 豚肉の品質向上に資する情報提供の充実とフィードバックのためのシステムの

拡充・整備を行い生産者に対して格付及び関連データを電子データで提供するサービスを開始する。

- ③ 希望する生産者に対して格付のオプションとして別料金で豚枝肉のオレイン酸等の脂肪酸組成の測定と測定結果の提供を開始する。
- ④ 豚肉の品質向上に資する情報提供の充実と高度化のためのシステム構築と維持運用に加え、豚枝肉の格付及び関連情報の充実に対応した格付員の技能の高度化を図るための体制整備、並びに公正かつ厳正な格付を安定的に継続するための協会財政基盤の強化に充てることを目的として、豚枝肉の格付手数料を110円から121円（いずれも消費税込み）に改定する。

### ○ 豚熱等に関する要請活動等

(2021年4月1日～2022年4月30日)

| 日付        | 内容                               | 活動及び要請先                      | 活動対応者                       |
|-----------|----------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 5月12日～14日 | 自民党家畜伝染病予防法改正 PT 議員との意見交換。       | 自民党家畜伝染病予防法改正PT議員及び主要議員。     | 香川会長、塩澤、中岡、石川、新村副会長、専務、常務   |
| 6月16日～17日 | 水際防疫の強化および豚熱ワクチン抗体検査平準化指導強化等の要望。 | 農水省葉梨副大臣、消費安全局長、自民党関連議員。     | 香川会長、中岡、岡部副会長、日高衛生部会長、専務、常務 |
| 6月24日     | 豚熱対策検討委員会の議論を踏まえてワクチン接種適正化に関する要請 | 農水省消費安全局長、自民党関係議員            | 香川会長、竹延代行、栗木筆頭、専務、常務        |
| 8月24日     | 農政推進協議会での令和4年度予算要請               | 自民党農政関連議員、農水省                | 香川会長、塩澤副会長                  |
| 8月31日     | 自民党養豚農業振興議員連盟総会における豚熱等に関する要望     | 自民党養豚農業振興議員連盟議員、農水省          | 香川会長他執行部                    |
| 9月17日     | 豚専門委員会の設立に関する要望                  | 農水省消費安全局長、自民党養豚農業振興議員連会長、幹事長 | 香川会長、岡部副会長                  |
| 11月16日    | 令和4年度税制改正に関する要望                  | 自民党農林部会（農政推進協議会）             | 常務                          |
| 12月7日     | 2022年度の畜産物関連対策に向けた要請             | 自民党畜産酪農対策委員会                 | 香川会長、塩澤、岡部副会長、専務、常務         |
| 12月7日     | 2022年度の畜産物関連対                    | 公明党農林部会                      | 香川会長、塩澤、岡部副                 |

|        |                                       |                 |                           |
|--------|---------------------------------------|-----------------|---------------------------|
|        | 策に向けた要請                               |                 | 会長、                       |
| 12月14日 | 2022年度の畜産物関連対策に向けた要請                  | 自民党畜産振興議員連盟総会   | 香川会長、塩澤、岡部副会長、専務、常務       |
| 12月23日 | 畜産酪農団体申し渡しとお礼                         | 自民党畜産振興議員連盟総会   | 香川会長、栗木筆頭副会長、中岡、石川副会長     |
| 3月16日  | 種豚関係者とともに豚熱対策について質問書提出と意見交換           | 農水省畜産局及び消費安全局   | 専務、常務、種豚連絡協議会、SPF協会他      |
| 4月5日   | 緊急経済対策に向けた要請（飼料高騰対策）                  | 自民党農林部会等        | 香川会長、塩澤副会長、櫻井常務           |
| 4月5日   | 同上                                    | 公明党農林水産部会       | 塩澤副会長、松村顧問理事、山本豚熱部会長、小磯専務 |
| 4月14日  | 自民党養豚議連総会での要請（豚熱抗体検査、九州獣医師、飼料高騰、環境対策） | 自民党養豚農業振興議員連盟総会 | 香川会長他                     |

○ 豚熱関連要請事項の整理

（2019年10月ワクチン接種開始～2022年3月）

| 要 請 事 項  | 時 期  | 要 請 先                        | 結 果<br>(農水対応)           |
|--|--|------------------------------|-------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">家畜防疫</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小農家の防疫対策支援強化</li> <li>・ 豚熱早期終息・清浄化</li> <li>・ 国の責任で県の防疫を一元化</li> <li>・ 中長期的見通しの提示</li> </ul> | 2019.12<br>2020.9<br>2020.10<br>2021.8<br>2021.6 | 自民<br>養豚議連<br>自民<br>自民<br>局長 | (家伝法改正)<br>(県要望で地方移管経緯) |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">豚専門委</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豚専門委員会の創設</li> </ul>  | 2021.9<br>2021.12                                | 養豚議連<br>自民、公明                | △<br>牛豚小委に豚専門家2名増       |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ワクチン</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域限定で予防的ワクチン接種</li> </ul>   | 2019.8   | 大臣                           | ○ 10/25<br>接種開始         |

|  |                                       |                   |                        |
|--|---------------------------------------|-------------------|------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中和抗体検査の充実を県に指導</li> <li>・ 中和抗体検査で適期接種</li> </ul>                | 2020. 10<br>2021. 6、 8<br>2022. 4. 14 | 議連、局長<br><br>議連総会 | （検査で追加接種可能）<br>検査実施？   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワクチンの増産</li> </ul>  | 2019. 12                              | 自民                | （足りている）                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種費用の県間差の是正指導</li> </ul>  | 2020. 6                               | 議連、局長             | （HP比較表）                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種費用を国で安価に統一指導</li> </ul>                                       | 2020. 10                              | 養豚議連              |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数回接種の用法検討</li> </ul>   | 2021. 6                               |                   |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野生イノシシ等高リスク地域で限定的に2回接種</li> </ul>                               | 2021. 12                              | 党農林他              |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国産マーカーワクチン早期開発</li> </ul>                                       | 2021. 8                               | 養豚議連              | （国研究事業 3年実施）           |
| <b>接種者 獣医師</b>   |                                       |                   |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かかりつけ獣医師の責任下で接種</li> </ul>                                      | 2020. 6                               | 局長                |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間の管理獣医師による接種</li> <li>・ 知事認定制度の前倒し実施（千葉県）</li> </ul>           | 2020. 10<br>2021. 1<br>2021. 1        | 養豚議連<br>課長<br>局長  | ○ 知事認定獣医師制度<br>2021. 4 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種者不足のシュミレーションを</li> <li>・ 九州でのワクチン準備で精査を</li> </ul>            | 2021. 6<br>2022. 4                    | 局長<br>議連総会        |                        |
| <b>全頭殺処分</b>   |                                       |                   |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要件と範囲の明確化</li> </ul>  | 2021. 6                               | 局長                |                        |
| <b>埋却・レンダ</b>  |                                       |                   |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埋却からレンダ・焼却へ</li> <li>・ 埋却地確保支援</li> <li>・ レンダ方法確立と支援</li> </ul> | 2020. 10<br>2021. 8<br>2021. 8        | 養豚議連<br>自民<br>自民  | （レンダは補助手段）             |



|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <p style="text-align: center;"><b>水際対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A S F 等水際対策強化</li> <li>・ 違法持ち込み厳罰化</li> <li>・ A S F 陽性国全航空便、全郵便検査</li> </ul>  | <p>2019.12<br/>2021.12<br/>2020.9<br/>2021.8<br/>2021.6</p> | <p>自民<br/>自、公、畜<br/>議<br/>自民<br/>議連、自民<br/>大臣</p> | <p>(法改正で権限強化、探知犬増頭)<br/>(疑いあるもの検査)</p> |
| <p style="text-align: center;"><b>互助基金、再開支援等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A S F 予防殺への基金充実、</li> <li>・ 豚熱発生後の再開支援</li> <li>・ 生産者意向に沿った基金充実、設計</li> <li>・ A S F 別途対策の実施</li> </ul>              | <p>2020.2<br/>2020.9、10<br/>2020.10<br/>2021.8</p>          | <p>議連<br/>自民<br/>自民議連<br/>議連</p>                  | <p>(家伝法改正)<br/>(互助基金予算措置)</p>          |
| <p style="text-align: center;"><b>エコフィード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強化対象限定と輸入品にも同等条件を</li> </ul>  | <p>2020.2</p>   | <p>養豚議連</p>                                       | <p>(基準強化)</p>                          |
| <p style="text-align: center;"><b>野生イノシシ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策の検証を</li> <li>・ 経口ワクチンの拡充を</li> <li>・ 担当省庁の一元化とスピードアップ</li> <li>・ 抜本的な対策見直し、捕獲・駆除</li> <li>・ 国産経口ワクチンの早期開発</li> </ul> | <p>2020.9<br/>2020.9<br/>2020.10<br/>2021.8<br/>2021.8</p>  | <p>自民<br/>自民<br/>養豚議連<br/>自民、議連<br/>議連</p>        |  |
| <p style="text-align: center;"><b>種豚および精液流通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種豚業者に対するワクチン接種特例措置</li> <li>・ 円滑な種豚・精液流通対策の拡充</li> <li>・ 種豚場での豚熱発生に関して質問</li> </ul>                                  | <p>2019.10<br/>2019.12<br/>2020.9,10<br/>2022.2</p>         | <p>大臣、自民<br/>自民<br/>自民、議連<br/>畜産局</p>             | <p>(農水主催会議開催、補助事業継続)<br/>意見交換会</p>     |